

豊川市環境基本計画2020

環境行動都市とよかわ

～一人ひとりが、環境にも人にも優しくできるまちを目指して～

実施計画

(令和2年度～令和6年度)

令和2年度 実績報告



©いなりん

豊川市産業環境部環境課

目次

豊川市環境基本計画2020について	- 1 -
1. 低炭素型の暮らしを实践するまち（環境目標1）	- 2 -
2. 豊かな自然と共存するまち（環境目標2）	- 7 -
3. 資源を大切にするまち（環境目標3）	- 16 -
4. 安全で快適な生活環境のあるまち（環境目標4）	- 29 -
5. みんなで環境保全に取り組むまち（環境目標5）	- 39 -
6. 重点施策事業	- 44 -
7. 令和2年度全体の評価	- 48 -
8. 豊川市環境審議会の評価・意見および市の考え方	- 49 -

豊川市環境基本計画2020について

1. 豊川市環境基本計画2020について

本市では、平成21年4月に豊川市環境基本条例を施行し、この条例に基づき、令和2年3月に低炭素社会・生物多様性・循環型社会の実現などを旨とする「豊川市環境基本計画2020」を策定しました。この計画の対象期間は令和2年度から令和11年度までの10年間となっております。

2. 豊川市環境基本計画2020実施計画（令和2年度～令和6年度）について

「豊川市環境基本計画2020」の策定を受けて、より具体的に取り組みを進捗させるため、令和2年度から令和6年度までの5か年度の「豊川市環境基本計画2020実施計画」を策定しました。

また、実施計画においては、第6次豊川市総合計画（2016年～2025年）で位置づけられている環境面の施策とできるだけ連動させ、整合を図っています。

3. 実績報告における各事業の評価について

- ・各事業の評価は、事業実施課が自己評価を行います。
- ・評価については、単年度ごと実施します。
- ・評価の目安については、下記表を参考とします。

〈評価の目安〉

評価区分	数値目標	定性の目標
◎	目標数値を達成	目標の状態に達している
○	目標数値の7割以上達成	目標の状態に完全には達していないが おおむね達成していると判断できる
△	目標数値の7割未満達成	前年度より進捗している
×	目標に達するための取り組み をしていない	前年度から取り組んでいない

4. 進捗評価の活用について

- ・各事業実施課は、目標の達成が遅れている場合などは、次年度以降の取り組み計画などを見直します。
- ・継続して評価を積み重ね、次期計画改定の際の資料とします。

1. 低炭素型の暮らしを実践するまち（環境目標1）

<取組1 省エネルギー型ライフスタイル、事業活動の推進>

●省エネルギー行動の普及推進

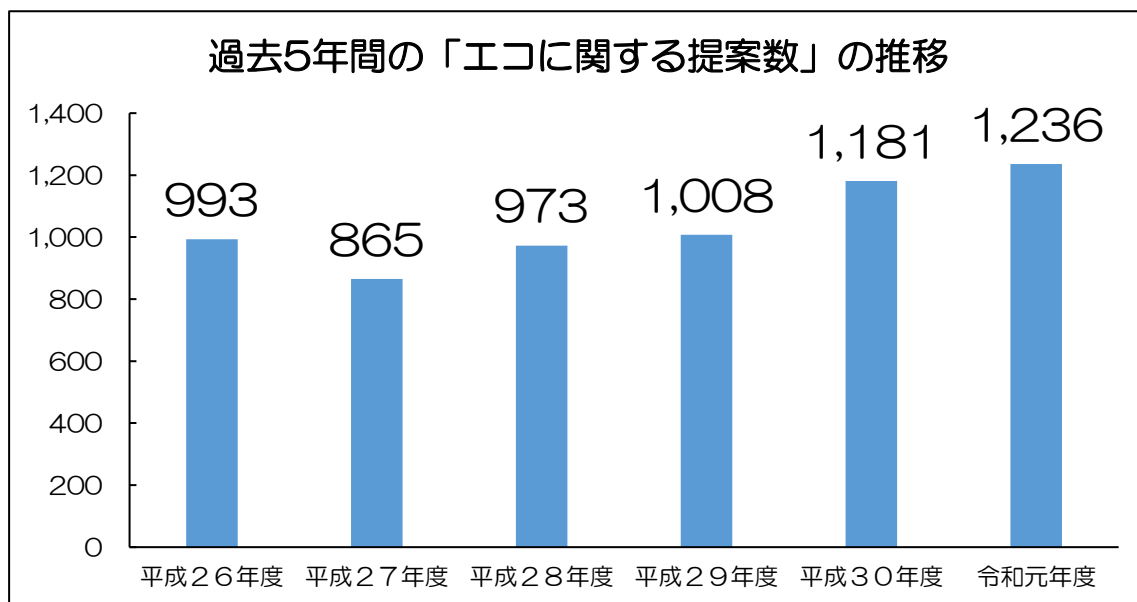
【1. エコチャレンジ・カレンダー事業】（産業環境部環境課）

目標指標 エコに関する提案数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
1,200	1,055

エコチャレンジ・カレンダーは、子どもたちが毎日の生活の中で自分たちにできるエコを知り、目標を立てて行動できるようになることを目指し作成したものである。小学5年生に配布し、毎月設定される「今月のテーマ」に寄せられた作品やアイデアをHPで紹介し、省エネルギーやCO2削減について関心を高めてもらっている。

令和2年度は前年度より提案実績が減少してしまったが、平成26年度から令和元年度までの提案数の平均実績（1,043件）の誤差範囲内と考える。目標達成までもう少しである。



参考_過去5年間の「エコに関する提案数」の推移

【2. 地産地消推進・こだわり農産物推進事業】（産業環境部農務課）

目標指標 農業市参加店人数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
4,100	0

本事業は、食の安全安心システム推進事業として、こだわり農産物の認定を推進し、同農産物のタイアップ店を拡充させるものである。また、とよかわ農業市を開催し、食の輸送面からも環境に配慮した地産地消を推進する。

とよかわ農業市に登録している農家の方々がほいとも祭の軽トラ市に参加し、対面販売を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、辞退した。その代わりに、担い手育成支援協議会の事務局である市が出店登録者から農産物を買取り、とよかわ農業市として出店したところ、参加人数の把握こそできなかったものの、用意していた野菜は完売し、大変盛況であった。



参考_豊川市こだわり農産物

【3. 緑のカーテンの普及・啓発事業】（産業環境部環境課）

目標指標 緑のカーテン設置の公共施設数(箇所)

令和2年度の目標	令和2年度の結果
62	0

小中学校や保育園、公共施設等に緑のカーテンを設置することで、冷房機器の使用削減や適正温度による使用等、省エネを推進する。また、市民の参画を促進するため「緑のカーテン育て方講座」を計画する。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、年度当初、小学校は休校となっていた。この事業は愛知県から交付金をいただく事業で、4月中に実施可否の決断をしなければならず、先行不透明なため、やむを得ず事業を断念した。



<取組2 環境に配慮した移動手段・方法の推進>

●公共交通機関利用の促進

【4. 公共駐車場維持管理事業】（都市整備部都市計画課）

目標指標① 鉄道駅の乗車人員（主要な鉄道駅における1日平均の乗車人員）

令和2年度の目標	令和2年度の結果
19,600	15,621

目標指標② 定期延台数(豊川市公共駐車場分)

令和2年度の目標	令和2年度の結果
5,200	5,214

目標指標③ 一時利用台数(豊川市公共駐車場分)

令和2年度の目標	令和2年度の結果
50,000	52,897

公共駐車場維持管理事業では、道路交通の円滑化を図り、都市機能の維持及び増進に寄与するため、駐車場として設置されている豊川駅東駐車場、追分駐車場、愛知御津駅前公共駐車場、西小坂井駅前公共駐車場、諏訪第1公共駐車場、諏訪第2公共駐車場を管理運営している。施設の管理運営については指定管理者制度を導入しており、民間のノウハウを活用した効果的かつ効率的な運営を実施している。令和2年度の事業達成状況は以下の通りであった。

- ・指定管理者と連携し、屋外精算機の更新や修繕対応等を実施し、利便性の向上に努めた。
- ・サービスの向上や経営の効率化を図るため、利用者満足度調査等で利用者ニーズ等を把握し、改善に努めた。
- ・鉄道駅の乗車人員の実績は、目標値の7割以上を達成した。
- ・定期延台数と一時利用台数の実績は、目標値を達成した。



【5. 公共交通機関等利用促進事業】（市民部人権交通防犯課）

目標指標 コミュニティバス利用者数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
95,000	71,129

市内のバス路線はコミュニティバス10路線、民間路線バス2路線で構成されている。すべての路線において運行経費が運賃収入を上回っているため、路線維持のために利用者数の増加を目標として掲げている。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により利用促進イベントを実施できなかったものの、豊鉄バス、国及び沿線市で連携して豊鉄バスにバスロケーションシステムを導入し、バスの利便性向上を図った。



参考_第6次総合計画実施計画における利用者数の目標

③市内バス路線の維持、確保 (人権交通防犯課) ・公共交通施策の検討、実施 ・公共交通会議の開催 ・バス路線の運行確保への支援	コミュニティバス 利用者数 (本市が運行する バス路線の利用者 数です。)	数値	平成26 年度値	平成28 年度値	平成30 年度値	令和2 年度値	令和4 年度値	令和6 年度値
			82,959人	83,748人	98,263人	95,000人	90,000人	96,500人

参考_豊川市地域公共交通計画における利用者数の目標

目 標		令和元年度 実績	数 値 目 標		
			令和5年度	令和7年度	
目標1	公共交通 機関 利用者数	合 計 (鉄道以外)	980,771 人/年	908,500 人/年	980,000 人/年
		コミュニティ バス	101,604 人/年	93,500 人/年	100,000 人/年
		豊鉄バス 新豊線・豊川線	398,056 人/年	370,000 人/年	400,000 人/年
		豊川市内 タクシー	481,111 人/年	445,000 人/年	480,000 人/年
	主要な鉄道駅の 1日あたりの乗車人数(人)	20,375 人/日	20,000 人/日	20,000 人/日	



参考_コミュニティバス

●エコカー、エコドライブの推進

【6. 低燃費かつ低排出ガス認定車等購入】（産業環境部環境課ほか）

目標指標 公用車における低排出ガス認定車等の割合（％）

令和2年度の目標	令和2年度の結果
79%	77%

愛知県の「県民の生活環境の保全等に関する条例（平成15年条例第7号）」第80条の規定に基づき、乗用車換算で200台以上の自動車を使用する事業者に対し、低公害車の導入割合を報告するよう義務付けられていることから、その調査値を流用した事業計画となっている。

現在、市役所及び社会福祉協議会、市観光協会、土地改良区で保有している公用車等は全体で403台あり、買い替え時には、可能な限り愛知県の定義する低公害車を導入するように努力している。前年度と比較すると、車両全体で1台増加したことに対し、低公害車以外は8台増加している。低公害車の導入は担当部署だけでなく、財政部局との調整も必要となり、目標達成に様々な課題が見受けられる。また、低公害車であってもそれを運転する者の意識が高くないと効果が半減するので、エコドライブ講習会を実施し、職員に対する啓発を継続していきたい。



<取組5 緑化等による都市環境の改善>

●公共施設の緑化推進

【7. 緑化推進事業】（都市整備部公園緑地課）

目標指標 市民と行政が協働管理する都市公園割合（％）

令和2年度の目標	令和2年度の結果
73%	73%

本事業は、愛知県の交付金を活用した事業であり、市民団体に花等を配布し、公園、学校等の公共施設に植えてもらい、緑化推進を図るものである。また、年に一度外部講師を招き、手取山公園にて、自然観察会を実施している。

令和2年度は、市民と行政が協働管理する都市公園割合について、目標を達成することができた。また、地元にある都市公園を地元が管理することで、緑や身近な自然への興味関心を高めることができた。自然観察会は、東三河自然観察会自然観察指導員を講師に招いて手取山公園で開催し、未就学児から大人まで幅広い世代に参加してもらうことができ、緑・自然への興味を持ってもらうことができた。



2. 豊かな自然と共存するまち（環境目標2）

<取組10 河川・海岸の保全>

●保全活動の啓発・支援

【8. 川と海のクリーン大作戦】（建設部道路河川管理課）

目標指標 クリーン大作戦参加人数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
450	0

本事業は、「郷土の川や海をみんなでクリーンアップ」を合言葉に、地元住民、地方自治体、国が一体となって、いこいの広場・東上河川敷グラウンド・一宮南部小学校前堤防・金沢橋運動広場・三上緑地・豊川放水路管理棟前の豊川河川敷の清掃活動を実施し、川と海をきれいにするものである。国土交通省からの呼びかけに対し、例年1回、地域と協力して河川の清掃活動を実施しているが、令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響により事業が中止となった。



<取組11 農地の保全・活用>

●農地の保全

【9. 土地改良事業（補助・市単独）】（産業環境部農務課）

目標指標 ため池フェンス設置数(累積)

令和2年度の目標	令和2年度の結果
34	34

ため池フェンス設置は水難事故防止を図るための安全施設である。ため池の危険認識や判断力の欠如により危険区域への侵入を防げるように設置箇所、フェンスの種類を検討し、設置することが出来た。



【10. 担い手育成総合支援協議会負担金】（産業環境部農務課）

目標指標 新規就農者数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
15	12

本事業は、農業担い手育成総合支援協議会に負担金を支払うことで、当協議会と連携し「就農塾」などの農業研修を活用し、農業従事者の人材育成を図るものである。

令和2年度は、例年通り就農塾を開催し、2名の生徒が修了した。新規就農者数は全体で12名となり、おおむね例年通りの就農者数を確保できている。

受講者が利用できる協議会の機械導入補助金についても8件の利用があり、新規就農者の支援に繋がった。

こうした新規就農者を育成、支援するための担い手育成総合支援協議会が行う各事業に負担金を支払い、農業振興に努めた。



参考_就農塾

●農業への支援

【11. 農業近代化資金利子補助・農業経営基盤強化資金利子補助事業】
(産業環境部農務課)

目標指標① 農業近代化資金利子補助件数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
23	23

目標指標② 農業経営基盤強化資金利子補助件数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
3	3

農業経営の近代化を推進し、農業技術の向上及び農業施設等の充実を図る活動を支援するため、農業関係団体等に補助を行った。

本事業の実績値は申請件数に左右される。平成25年度の申請件数と比較すると、農業近代化資金で2件増加、農業経営基盤強化資金で32件減少しているが、近年の申請件数は同数を維持しており、おおむね安定している。今後も、継続して農業振興に努めていく。



【12. 学校給食を通じた地産地消推進事業】（教育委員会学校給食課）

目標指標① 学校給食献立での地産地消率（愛知県産品目使用率）

令和2年度の目標	令和2年度の結果
47.0%	49.9%

目標指標② 学校給食献立での地産地消率（豊川産品目使用率）

令和2年度の目標	令和2年度の結果
10.6%	11.6%

本事業は、本市の農産物を使用したイベント給食の実施などにより地場産物を積極的に利用するほか、児童生徒の参加による「地場産物を使用した学校給食献立コンクール」の開催や農家の方を学校に招いての「生産農家との会食会」を開催するなど、学校給食を通じて地産地消の理解向上を図るものである。令和2年度の事業達成状況は以下の通りであった。

学校給食献立での地産地消率については、青果納入業者に対して愛知県産および豊川産納品調査を実施し、調査結果に基づく発注を行ったことで目標値を上回ることができた。



参考_学校給食献立コンクール優秀作品例

<取組12 水循環の保全>

●流域の連携

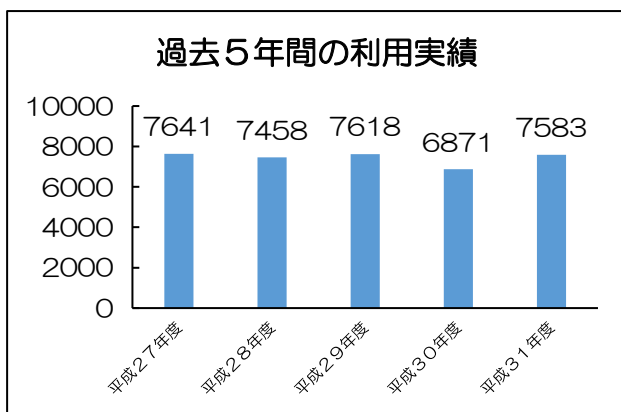
【13. 野外センター管理運営事業】（教育委員会スポーツ課）

目標指標 利用者数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
7,649	1,825

市内小学校5年生を対象とした2泊3日の野外活動を受け入れ、施設職員や自然観察ガイドボランティアといった設楽町の方々とふれあう場を設ける。また、水源上流域の設楽町と下流域の本市の人的交流や相互理解を深めるため、施設の指定管理者に設楽町公共施設管理協会を指定し、利用者の増加に向け、ワークショップやファミリーキャンプなどの自主事業を行っている。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止策における緊急事態宣言等の発出により、4月・5月に休業したことや市内小学校の野外活動が中止になったこと、開業20周年記念事業が大雨により中止となったことなどが影響し、計画通りに事業を開催することができず、例年と比べ利用者が減少した。



参考_過去5年間の利用実績



参考_野外センター

<取組13 多様な動植物の生育・生育環境の保全>

●貴重な自然環境の保全

【14. 御油松並木保護整備事業】（教育委員会生涯学習課）

目標指標① 並木マツ本数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
327	320

目標指標② 公有地化率

令和2年度の目標	令和2年度の結果
61	61

本事業は、江戸時代の面影を残す並木景観を維持するため、「国指定天然記念物御油のマツ並木保存管理計画」に基づき、古木の樹勢回復作業及び後継樹の植樹を行うとともに、保存区域を天然記念物に追加指定し、公有地化を図るものである。

令和2年度は、御油松並木愛護会と協働作業で古木の樹勢回復作業を実施し、御油小学校の卒業記念事業として15本の後継樹の植樹を行ったが、成長不良木等を11本伐採したことにより、目標本数には達しなかった。

公有地化率については、地権者との調整により当初から令和2年度の予定はなかった。



参考_御油のマツ並木

【15. 身近な自然環境調査事業】（産業環境部環境課）

目標指標① 身近な自然環境調査参加者（累計）

令和2年度の目標	令和2年度の結果
1,860	1,966

目標指標② 河川の水質階級

令和2年度の目標	令和2年度の結果
豊川Ⅰ 佐奈川Ⅱ 音羽川Ⅰ	豊川Ⅰ 佐奈川Ⅱ 音羽川Ⅰ

本事業は、河川の水生物調査の実施や、赤塚山公園において外部講師を招いた自然観察会を実施しているものである。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業もあるが、全体で167名（前年度累計値/1,799人）の参加があった。内訳は【八南小学校白川調査支援/103人】、【赤塚山公園自然観察会キノコの観察/20人】、【手取山公園自然観察会/25人】、【赤塚山公園自然観察会バードウォッチング/19人】となっている。このような調査や講座を通して、自然環境の保全を周知啓発していく必要性を改めて感じた。

河川の水質階級は、前年度と変わらない。水質階級はそう簡単には変わるものではないが、少なくとも悪化させないように啓発を継続しなくてはならない。



参考_キノコの観察会

●外来生物防除や鳥獣害対策の推進

【16. 有害鳥獣駆除事業】（産業環境部農務課）

目標指標① サル駆除隊による駆除頭数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
65	52

目標指標② ニホンザル捕獲頭（サル駆除隊以外）

令和2年度の目標	令和2年度の結果
20	10

本事業は、狩猟連合豊川、被害防止対策協議会、地元駆除組織と連携し、有害鳥獣の駆除活動及び農作物被害を防除するものである。

令和2年度は、狩猟連合豊川、被害防止対策協議会、地元駆除組織と連携し、引き続き体制の強化に努めた。サルによる被害は減少しているものの、引き続き大型捕獲檻の移設、サルの行動範囲調査、サル駆除隊による捕獲強化を実施した。また、国費を活用して、くくり罠や捕獲檻用の発信機及び受信機を購入、地元駆除組織に配布し、捕獲体制の整備を行った。



参考_豊川市・豊川市鳥獣被害防止対策協議会の有害鳥獣に対する取り組み

<取組14 自然とふれあえる場の整備>

●自然とふれあう場の整備

【17. 都市公園整備事業】（都市整備部公園緑地課）

目標指標 ワークショップを行って整備する公園・緑地数(累計)

令和2年度の目標	令和2年度の結果
11	11

本事業は、市民参加による公園計画を立案し、利用促進や適切な管理へ繋げるものであるが、計画どおり新規整備される公園について、町内会を始めとする地元の方々とワークショップを開催し、町内における課題等の解決に向けた計画案が策定されたため、目標達成と考える。なお、11か所の内訳は【くすのき公園・八幡上ノ蔵公園・平尾南公園・大池散策路・手取山公園・三明公園・サツキ公園・大木1号公園・駅東電車通公園・二丁目大木もみのき公園・西部区画5号公園(仮称)】である。



参考_くすのき公園

3. 資源を大切にすまち（環境目標3）

<取組16 水の有効利用の促進>

●水の有効利用の啓発・支援

【18. 雨水貯留施設設置・転用支援事業】（上下水道部下水管理課）

目標指標 雨水貯留施設設置基数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
655	648

雨水貯留施設設置事業及び浄化槽雨水貯留施設転用事業は雨水の流出を軽減し、利活用することを目的とした制度である。例年5月に広報とよかわに掲載するなどの広報活動を行っている。

令和2年度の実績については、目標数まで至らなかったものの、合計22件の設置費にかかる補助を行った。

近年のゲリラ豪雨等の影響もあり、申請件数はやや増加傾向である。



参考_雨水貯留施設イメージ

●公共施設などにおける水の有効利用

【19. 配水管整備事業】（上下水道部水道整備課）

目標指標 漏水修繕件数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
50	32

配水管整備事業は、経年化した管や漏水多発している管を布設替える経年管布設替工事と、土地区画整理事業や下水道事業等に伴い新設・移設する配水管整備工事に分類される。どちらの工事も耐震性のある配水管で整備することにより漏水を減らすことにつながるため、目標指標を漏水修繕件数としている。この事業により取組目的である水の有効利用を促進するものである。

令和2年度の実績は全体としては計画事業量を下回っているが、内訳としてはより目標指標に影響する経年管布設替工事について計画事業量を達成している。目標指標である漏水修繕件数は前年度と同程度で目標値も達成しており、概ね計画通りの成果となっている。



参考_令和2年度の計画事業量

計画事業量	単位	計画値（令和2年度）	実績（令和2年度）
配水管整備工事	m	8,435	5,564
経年管布設替工事	m	3,882	4,848

<取組17 リフューズ（断る）・リデュース（減らす）の推進>

●ごみ減量の推進

【20. 生ごみ処理機購入支援事業】（産業環境部清掃事業課）

目標指標 生ごみ処理機等購入費補助件数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
35	36

本事業は、生ごみ減量のため、生ごみ処理機等の購入に対し助成するものである。また、処理した生ごみを堆肥化することにより、家庭系ごみの減量化意識の向上を図る。

補助件数は目標値を上回っている。内訳として、電動式が25件、非電動式の生ごみ消滅容器「キエーロ」が11件である。コロナ禍において、外食を控えると、家庭内の生ごみが増える可能性があり、引き続き、継続していきたい事業である。



参考_キエーロ

●ごみ減量の啓発・支援

【21. ごみ減量・リサイクル推進啓発事業】（産業環境部清掃事業課）

目標指標 延べ参加者数（人）

令和2年度の目標	令和2年度の結果
4,200	237

本事業は、ごみの減量、資源の分別回収の促進と再生品の率先利用を目的とし、実際に集まったごみ、資源を処理している施設の見学、ごみ分別説明会やごみ減量講座の実施、ごみの分別方法の周知徹底を図るため、依頼のあった町内会、団体への分別説明会及び小学校4年生の社会科授業の一環として希望のあった小学校への出前講座を実施するものである。その他に食品ロス削減親子クッキング講座や市民団体との共催による小学生ごみ分別チェック隊を実施している。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で見学等が人数を制限したり、開催中止となった。各イベントにおける参加者の内訳は以下の通りである。

ごみ分別説明会 15 人、出前講座 93 人、リサイクル講座 12 人、清掃工場見学 75 人、資源化施設見学 42 人



参考_豊川市資源化施設

<取組18 リユース（再使用）の推進>

●再使用の推進

【22. 粗大ごみリユース推進事業】（産業環境部清掃事業課）

目標指標 リユース件数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
60	46

本事業は、搬入者了承のもと、粗大ごみ受付センターに搬入された粗大ごみのうち、再生可能な良品家具等を選別し、リユース家具として市民に無償提供するものである。提供物の情報は、市HPや市が発行する不用品交換情報誌「月刊クルクル」に掲載し、再使用を促進し、ごみの減量を図る。

実際にリユースできる粗大ごみが搬出されるかどうか予測することは非常に難しいが、今年度は47件の良品家具等を掲載することができ、うち46件を市民に提供することができた。（97.9%）



参考_リユース家具

【23. フリーマーケット開催支援】（産業環境部清掃事業課）

目標指標 フリーマーケット参加団体数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
56	0

本事業は、市民団体と協力し、フリーマーケットの開催を推進するものである。不用品の再使用を推進するため、市民団体が行うフリーマーケットの情報を市HP、広報などへ掲載し、会場使用料の減免申請などの支援を行い、開催を推進する。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため開催中止となった。



参考_フリーマーケット

【24. 不用品交換情報誌発行事業】（産業環境部清掃事業課）

目標指標 交換成立件数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
20	17

本事業は、不用品交換情報誌「月刊クルクル」の内容を充実させ、リユースを促進するものである。一般家庭から発生する不用品をごみとして処理しないで再利用できるように、市が架け橋となり、市民からの情報を発信していく。リユース、リサイクルの輪を広げ、不用品の再利用、再使用とごみの減量化を図る。

令和2年度交換成立件数は17件で、令和元年度の4件から大幅に増加した。



<取組19 リサイクル（再生利用）の推進>

●再生利用の推進

【25. 再生資源回収事業】（産業環境部清掃事業課）

目標指標 資源化率

令和2年度の目標	令和2年度の結果
25.1%	25.1%

本事業は、資源の分別回収を実施し、再生利用に取り組むものである。市内を8地区に分け、週1回、6種に分類して回収するほか、月2回、市役所東側倉庫で拠点回収を実施する。

資源化率の目標値の25.1%に対して、実績値は25.1%であった。目標値を達成した状態と言える。しかし、平成29年度から稼働した資源化施設内の堆肥化施設の刈草・剪定枝の搬入量は、平成30年度をピークにその後は減少しており、これに伴い、資源化量も減少している。堆肥、チップ・膨潤品の利用促進を拡大することが必要となる。この点が今後の資源化率の向上に繋がると考える。



【26. 廃食用油回収事業】（産業環境部清掃事業課）

目標指標 回収量（ℓ）

令和2年度の目標	令和2年度の結果
13,359	13,234

本事業は、可燃ごみとして排出されていた廃食用油（天ぷら油）を回収し、精製業者に売却し、リサイクル事業を推進するものです。回収方法として、ごみステーションへ排出するほか、拠点回収やコープ諏訪店による店頭回収を実施している。

廃食用油回収量の目標値の 13,359ℓ に対して、実績値は 13,234.4ℓ であり、概ね目標値を達成した状態と言える。回収方法は、協力町内会のごみステーション、拠点回収とコープ諏訪店による店頭回収で実施している。町内会のごみステーションでは、回収量の無い箇所があることから、協力町内会の見直しやコープ諏訪店以外の店頭回収等を考え、回収量の増加につなげたい。



【27. 有価物回収支援事業】（産業環境部清掃事業課）

目標指標 集団回収量（t）

令和2年度の目標	令和2年度の結果
1,560	741

本事業は、ごみ減量化と資源の再利用を推進するため、自主的に資源回収運動を展開し、再生利用可能な廃棄物（空き缶、空きびん、古紙など）を回収した団体に対し、有価物回収量に応じ、4.5 円/kg の補助金を交付するものである。

新型コロナウイルス感染症の影響により、活動を見合わせる団体が多く、例年の回収量より大幅に減少した。



【28. グリーン購入推進事業】（総務部契約検査課）

目標指標 グリーン購入割合

令和2年度の目標	令和2年度の結果
78%	79%

各課が物品を購入する際はグリーン購入推進指針に基づき、優先的にグリーン購入法適合商品やエコマーク認定品を選択する。特に特定調達品目は特別な理由がない限りはグリーン購入法適合商品を選択するように契約検査課を通して購入する物品は確認を行っている。

令和2年度は目標を達成しているが、今後も環境に配慮した製品の購入に心がけるよう職員の周知をしていきたいと考える。



<取組20 適正なごみ処理の推進>

●ごみの適正処理の推進

【29. 資源等持ち去り及びポイ捨て防止事業】（産業環境部清掃事業課）

目標指標 指導件数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
35	36

本事業は、ポイ捨てや資源等の抜き取りを防止するため監視パトロール事業を実施するものである。

令和2年度は、口頭注意が20件、警告書を渡したのが15件、パンフレットを渡したのが1件であった。



【30. ごみ運搬車両貸出事業】（産業環境部清掃事業課）

目標指標 ごみ運搬車両貸出件数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
1,400	1,456

本事業は、ごみ運搬車両を手配できない市民や町内会へ、粗大ごみ等を運搬する軽トラックの貸出を実施するものである。

令和2年度は、年間の貸出枠数が1,607枠に対し、貸出件数が1,456件で貸出率が90.6%であった。



参考_ごみ運搬用軽トラック



【31. あんしん訪問収集事業】（産業環境部清掃事業課）

目標指標 ごみ回収量（可燃・不燃・資源・危険）(t)

令和2年度の目標	令和2年度の結果
9.8	9.8

本事業は、身近な方の協力が得られず、ごみ・資源物を所定の集積場に自ら出すことが困難なひとり暮らしの高齢者・障がい者の方（当制度を利用しなければごみ等の処理ができない世帯）を対象に、週に1回、玄関先までごみ・資源の戸別収集を行うものである。

あんしん訪問収集のごみ及び資源化物の回収量は、目標値の9.8tに対して、実績値は9.8tであり、目標を達成している。対象世帯数は、この制度を令和2年度内に利用した数は、44世帯であった。年度末時点での、継続利用世帯は32世帯であるが、今後は利用世帯の増加が見込まれ、これに伴い回収量は増加していくと考られる。



【32. 在宅医療廃棄物収集事業】（産業環境部清掃事業課）

目標指標 保管・回収専用容器配布機関数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
25	26

家庭で発生する在宅医療廃棄物のうち感染性を有する若しくはその恐れのあるもののうち、罹りつけの医療機関に返却されたものを適正なごみ処理を推進する観点から、「在宅医療廃棄物収集事業」として回収を実施している。

令和2年度は、収集機関は25の目標値に対して、26となり、目標は達成している。



●不法投棄の防止対策

【33. 散乱ごみ回収運動「豊川市清掃の日」事業】（産業環境部清掃事業課）

目標指標 参加団体数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
500	0

本事業は、清潔で美しいまちを目指し、ポイ捨てされにくい環境づくりのため、町内会や市内事業所が一体となって、道路、公園、河川等に散乱しているごみを回収する市民参加型の清掃活動を実施するものである。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響のため、開催中止となった。



【34. 不法投棄ごみ収集対策事業】（産業環境部清掃事業課）

目標指標 不法投棄認知件数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
240	351

本事業は、ごみの不法投棄の早期発見や防止のため、パトロール等の監視を実施するものである。また、町内会に対し不法投棄抑止資材の提供等の支援を行い、地域ぐるみの対策を実施していく。

市民などからの通報による不法投棄の認知件数は、目標値の240件に対して、実績値は351件であり、不法投棄件数が増加してしまった。パトロール件数は、計画値190日/年間に対して、181日であったが、回収量は計画値14.6t/年に対して、実績値は24.2t/年となった。引き続き、適正なごみ処理を推進するためにも、不法投棄廃棄物のパトロールを実施する。



参考_令和2年度の計画事業量

計画事業量	単位	計画値（令和2年度）	実績（令和2年度）
不法投棄パトロール	日	190	181
不法投棄物回収量	t	14.6	24.2

<取組21 ごみ処理体制の充実>

●廃棄物処理施設の整備

【35. 清掃工場長寿命化事業】（産業環境部清掃事業課）

目標指標 清掃工場焼却処理量(t)

令和2年度の目標	令和2年度の結果
54,025	54,225

本事業は、清掃工場の長寿命化計画に基づき、設備・機器の改良工事を行うものである。

清掃工場焼却処理量は、目標値の54,025 t に対して、実績値は 54,225 t であり、目標をやや超過してしまった。令和2年度は、延命化事業として、A棟では電気室の無停電電源装置を更新、またB棟工事として、計量棟の計量機の更新を実施した。



参考_豊川市清掃工場

4. 安全で快適な生活環境のあるまち（環境目標4）

<取組22 大気汚染の防止>

●大気汚染防止対策の推進

【36. 公害防止協定締結事業】（産業環境部環境課）

目標指標 公害防止協定締結累計事業所数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
84	85

本事業は、工業団地進出企業等と公害防止や環境保全のための協定を締結するものである。

令和2年度は、穂ノ原工業団地への進出企業をはじめとする2社（3事業所）と協定を締結することができた。



<取組23 水質汚濁の防止>

●公共下水道の整備

【37. 公共下水道整備事業】（上下水道部下水整備課）

目標指標 下水道処理人口普及率

令和2年度の目標	令和2年度の結果
84.3%	84.6%

本事業は下水道事業計画に基づき、公共下水道及び特定環境保全公共下水道の整備（設計委託・工事・補償等）を実施するものである。

下水道普及率（下水道処理人口普及率）は、行政人口に対して、下水道が利用できる人口の割合を示す指標である。事業計画に位置付けられた処理区域の整備を順次進めてる。

令和2年度は目標を達成した。



【38. 水洗化促進事業】（上下水道部下水管理課）

目標指標 供用開始区域内の下水接続率(%)

令和2年度の目標	令和2年度の結果
92.5%	92.4%

本事業は、公共下水道が供用開始された地区における汲み取り便所及び浄化槽使用世帯の下水道接続を啓発するものである。

接続数は増加しているものの、新規下水道整備地区の増加もあり、わずかに目標値に達することができなかった。



●生活排水対策の啓発・支援

【39. 生活排水対策推進事業】（産業環境部環境課）

目標指標 講座参加者数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
150	0

本事業は、町内会や児童クラブ等を対象とした出前講座の開催や、生活排水に係る啓発資材を配布している。また、生活排水による公共用水域の水質汚濁と住民の生活環境の保全を図るため、生活排水クリーン推進員を任命し、エコクッキング講座など生活排水に係る学習会を開催している。

新型コロナウイルス感染症の影響により、出前講座は町内会などからの依頼がなく、長期休暇中の児童クラブ向けの出前講座も実施できなかった。

また、生活排水クリーン推進員を対象としたエコクッキング体験講座も「市主催行事の開催及び公共施設の使用における対応指針」に沿った会場使用や感染防止対策が困難であったことから実施できなかった。

啓発資材の配布についても、出前講座が開催できなかったこと、豊川市民まつり「おいでん祭」を始めとした行事も中止となったことから配布できなかった。

今後の生活排水クリーン推進員を対象とした学習会は、調理を伴わない新たな内容での実施を検討したい。



●合併処理浄化槽の普及・促進

【40. 浄化槽普及事業】（産業環境部環境課）

目標指標 設置費補助件数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
11	2

本事業は、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全を図るため、単独浄化槽及び汲取り便槽から合併処理浄化槽への転換について、設置費の一部を補助するものである。

下水道の普及により補助対象地区が減少し、それに伴い年々申請件数も減少している。下水道未整備地区も残されているので、今後も補助制度を周知しながら継続していく。



●水質の調査・監視

【41. 水質汚濁対策事業】（産業環境部環境課）

目標指標① 佐奈川（前川橋）水質 BOD75%(mg/l)

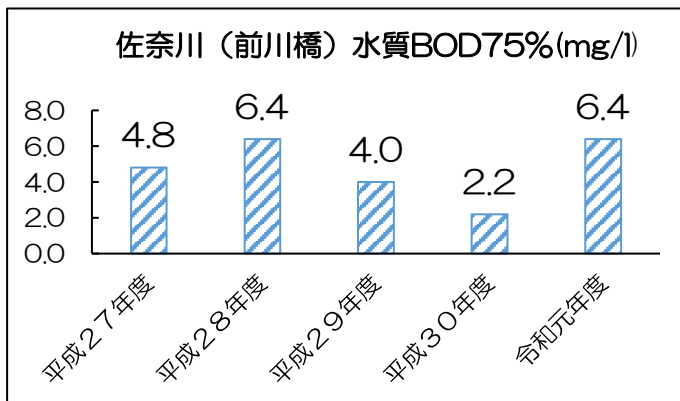
令和2年度の目標	令和2年度の結果
6.0	5.5

目標指標② 音羽川（南田橋）水質 BOD75%(mg/l)

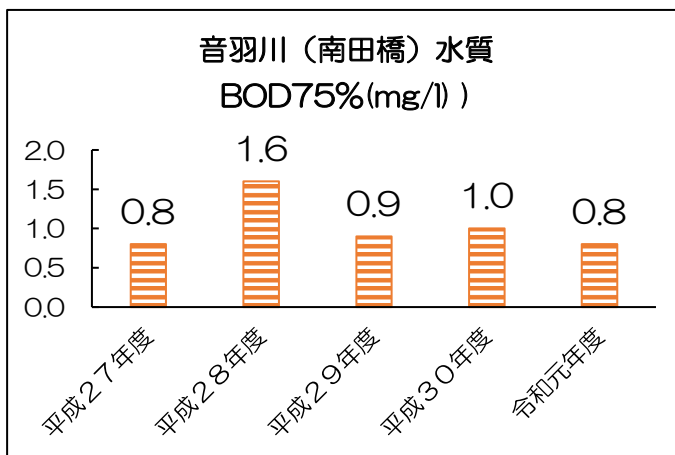
令和2年度の目標	令和2年度の結果
1	0.8

本事業は、河川の水質調査を定期的に行うとともに、工場や事業所の水質汚濁発生施設に対し、県と連携し指導を行うものである。

佐奈川については昨年度、水質が大きく悪化してしまっただが、今年度は回復傾向に向かった。音羽川は継続的に目標値を達成することができている。



参考_過去5年間の「佐奈川（前川橋）水質 BOD75%(mg/l)」の推移



参考_過去5年間の「音羽川（南田橋）水質 BOD75%(mg/l)」の推移

<取組24 騒音・振動・悪臭等の公害対策の推進>

●土壌汚染・地下水汚染防止に向けた指導・啓発

【42. 焼却灰埋立処理事業】（産業環境部清掃事業課）

目標指標① 原水pH値（年間平均値）

令和2年度の目標	令和2年度の結果
10.5	10.5

目標指標② 原水BOD値（年間平均値 mg/ℓ）

令和2年度の目標	令和2年度の結果
26.0	28.0

※基準値60mg/ℓはクリアしている

目標指標③ 原水COD値（年間平均値 mg/ℓ）

令和2年度の目標	令和2年度の結果
320.0	304.0

焼却灰最終処分場では、浸透水による地下水汚染を未然に防止するため、埋立地全面に二重遮水シートを張り、電流式の漏水検知システムを採用し、シートの遮水機能の監視、地下水の汚染防止を図っている。

埋立地の浸出水(原水)について、毎月水質検査を実施している。原水pH値と原水COD値は、令和2年度の目標指標をクリアしている。また、原水BOD値は目標指標を若干超えているが、法的な排水基準値はクリアしている。全体として概ね目標指標を達成した。



<取組25 ゆとりある生活空間の整備>

●ゆとりある生活空間の整備

【43. 豊川駅東土地区画整理事業】（都市整備部区画整理課）

目標指標 宅地整備面積(ha)

令和2年度の目標	令和2年度の結果
32.7	32.7

本事業は、土地区画整理事業により、豊川駅東地区内の駅前広場及び道路等の整備を含む市街地体系の再編成を行い、ゆとりある住環境空間を創出するものである。

令和2年度は、予定どおり目標指標を達成できた。



【44. 豊川西部土地区画整理事業】（都市整備部区画整理課）

目標指標 宅地整備面積(ha)

令和2年度の目標	令和2年度の結果
58.2	58.8

本事業は、土地区画整理事業により、豊川西部地区内の道路、水路、公園等の整備を含む市街地体系の再編成を行い、土地利用の効率化を促進し、利便性、快適性、安全性などの向上を図るものである。

令和2年度は、予定どおり目標指標を達成した。



【45. 防犯灯設置費補助事業】（市民部人権交通防犯課）

目標指標 市内LED防犯灯数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
6,300	6,680

本事業は、町内会などが設置する防犯灯について、設置費などの一部を補助し、屋外の夜間照明における防犯対策を行うなかで、LED照明灯への更新を推進し、環境負荷の低減を図るものである。

令和2年度は、町内会などが設置する防犯灯の設置費の一部を補助し、防犯灯のLED化を推進した。令和2年度現在、市内の防犯灯LED化率は72.4%、設置灯数は6,680灯となっている。設置主体である町内会が積極的にLED化を進めたため、目標を達成することができた。



<取組27 歴史資源の保存と活用>

●歴史的遺産の保存と活用

【46. 三河国分尼寺跡史跡公園管理運営事業】（教育委員会生涯学習課）

目標指標 三河天平の里資料館入館者数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
8,000	4,123

本事業は、国指定史跡である三河国分尼寺跡史跡公園の保存を図り、ボランティアガイドと協力し、活用を図るものである。

新型コロナウイルス感染症拡大防止による緊急事態宣言発令に伴い4月12日～5月24日まで臨時休館としたことなどにより、目標値を達成できなかった。



参考_三河国分尼寺跡史跡公園



【47. 豊川海軍工廠平和公園管理運営事業】（教育委員会生涯学習課）

目標指標 入園者数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
30,000	31,740

本事業は豊川海軍工廠平和公園内にある市指定史跡「豊川海軍工廠遺跡 旧第一火薬庫、旧第三信管置場」の保存を図り、語り継ぎボランティアと協力し、この歴史を後世に伝えるものである。

新型コロナウイルス感染症拡大防止による緊急事態宣言発令に伴い4月12日～5月24日まで平和交流館を臨時休館としたが、平和公園への入場制限は行っていなかったため、目標値を達成できた。



【48. 大橋屋管理運営事業】（教育委員会生涯学習課）

目標指標

令和2年度の目標	令和2年度の結果
5,000	4,709

本事業は、市指定建造物「大橋屋(旧旅籠鯉屋)」を保存し、ボランティアガイドや町内会と協力し、活用を図るものである。

新型コロナウイルス感染症拡大防止による緊急事態宣言発令に伴い4月12日～5月24日まで臨時休館としたことなどにより、目標値を達成できなかった。



参考_大橋屋外見

●歴史的遺産の保護の啓発・支援

【49. 文化財保護啓発事業】（教育委員会生涯学習課）

目標指標① 豊川海軍工廠語り継ぎボランティアガイド登録者数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
55	50

目標指標② 赤坂宿ボランティアガイド登録者数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
19	19

目標指標③ 三河天平の里資料館ボランティアガイド登録者数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
25	30

本事業は、地域全体で文化財の保護意識の高揚を図るため、ボランティア養成講座を開催し、文化財への保護や歴史の継承に取り組む体制を整えるものである。

令和元年度に予定していた三河天平の里資料館ボランティアガイド養成講座を新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一部令和2年度に延期したことにより、新規の登録者が増えた。豊川海軍工廠語り継ぎボランティアガイドについては、5名減となったが令和3年度に養成講座を実施し、登録者数の維持を図る予定である。



参考_豊川海軍工廠語り継ぎボランティアガイド風景

●伝統文化の継承への支援

【50. 伝統芸能支援事業】（教育委員会生涯学習課）

目標指標 来場者数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
450	0

本事業は、無形民俗文化財の公開の場を設け、後継者育成への支援や保存団体相互の交流を図るため、赤坂の舞台を会場に伝統芸能支援事業を実施するものである。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により、事業を中止した。



参考_赤坂の舞台伝統芸能公演

5. みんなで環境保全に取り組むまち（環境目標5）

<取組30 環境教育・環境学習の推進>

●環境教育・環境学習の充実

【51. 環境学習推進事業】（産業環境部環境課）

目標指標 環境講座等の参加者数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
1,200	192

本事業は、地球にやさしい行動を理解し、日常的に実践できる人を育てるため、環境学習講座などを実施するものである。小学生向けの酸性雨学習会や夏休みを利用した子ども環境体験講座などのほか、一般向けの講座も実施している。また、町内会などの団体や学校、児童クラブなどからの依頼を受けて、地球温暖化に関する出前講座を実施している。

新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業が多く、特に夏休み期間中に実施している小学生を対象とした事業は、夏休み期間の短縮により子ども環境体験講座1件しか実施できなかった。

地球温暖化に関する出前講座は、長期休暇中の児童クラブ向けの出前講座が夏休みに実施できなくなったほか、町内会などからの依頼もなかったため、参加者数の大幅な減少につながり、目標を達成できなかった。水生生物調査支援は、新型コロナウイルス感染症の影響により依頼がなくなったが、新たな水質調査支援の依頼があった。

全体で192名の参加があり、内訳は【八南小学校白川水質調査支援/103人】、【子ども環境体験講座/12人】、【地球温暖化対策推進員研修/50人】、【地球温暖化に関する出前講座/12人】、【キノコの菌打ち体験/15人】となっている。

令和3年度以降も新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら事業を実施していくことになるが、実績数にとらわれず、安全な講座開講を心がけていく。



参考_出前講座

【52. 子どもエコポイント事業】（産業環境部環境課）

目標指標① 参加者数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
960	52

目標指標② ジュニアエコリーダー認定者数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
5	0

本事業は、地球温暖化問題等、環境への関心をもってもらうため、市が実施する環境講座等に参加した児童にポイントを付与している。所定のポイントを集めた児童にはエコグッズと交換したり、「ジュニアエコリーダー」として認定するなどし、積極的な講座参加を促しているものである。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、子どもエコポイント対象講座が激減したため、目標を達成できなかった。



<取組31 環境情報の収集と提供>

●環境情報の収集と提供

【53. 市ホームページ・広報掲載】（産業環境部環境課）

目標指標 ホームページ環境部局(環境課・清掃事業課)アクセス数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
7300	8385

環境基本計画の周知や補助制度の案内、各種環境講座の参加者の募集、環境に関する調査データや環境保全に関する情報提供など、環境行政に係るもの全ての情報発信源として活用するものである。

ホームページのアクセス数の内訳は、【産業環境部/944件】、【環境課/3,184件】、【清掃事業課/4,257件】であった。前年度と比べ、約4%増加しており、情報発信源として役割を果たしている。日中働いている方々は、電話による問い合わせ等が難しいため、ホームページ等による情報発信のほか、各種環境講座の申込方法についてもインターネット等を有効活用するなど工夫していきたい。



<取組33 環境を保全する活動の支援>

●NPO・ボランティア活動の支援

【54. 市民活動推進事業】（市民部市民協働国際課）

目標指標 ボランティア・市民活動登録団体数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
322	312

本事業は、市民活動を推進するため、NPO法人や市民活動団体に対する財政的な支援や、活動中の事故に備えた保険の整備、また市民活動を行う人材を養成するための講座を行うものである。

令和2年度は、NPO や市民活動団体が安定して継続的に事業を行えるよう、地域課題への取り組みや協働事業の実施に対する各種補助金の交付や、団体運営に係る経費の補助などによる財政的な支援、市民活動団体や地縁組織が安心して活動できるよう、活動中の事故に備えた保険

を整備し、市民活動やボランティアを行う方への支援を行った。また、活動参加への第一歩を支援する体験型の養成講座の開催などにより、市民活動団体を支えていく人材の育成・確保と、専門的なスキル・知識を持った人材を育成することで、市民活動の活性化を図った。

課題としては、ボランティア・市民活動団体数が減少傾向にあることや、市民活動団体構成員の高齢化、また新型コロナウイルス感染症により活動の機会が減少していることが挙げられる。



**【55. とよかわボランティア・市民活動センターの管理運営】
（市民部市民協働国際課）**

目標指標 ボランティア・市民活動センター利用延べ人数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
15,000	8,177

ボランティア・市民活動に関する情報の提供と発信、相談、ボランティアのコーディネート、施設や資機材の貸出など、ボランティアや市民活動団体の活動拠点となる、とよかわボランティア・市民活動センターの利便性の向上を図り、市民活動団体が活動しやすい環境を整備すると共に、インターネットやSNSなど多様な媒体を効果的に活用し、タイムリーな情報収集・提供の強化を図ることでNPO・市民活動団体の活動を支援している。

とよかわボランティア・市民活動センター利用延べ人数については、新型コロナウイルス感染症の影響によって前年度に比べて減少している。



●環境に配慮した自主的な取組の推進

【56. 豊川市地球温暖化対策実行計画区域施策編の推進】 （産業環境部環境課）

目標指標① 市域全体の温室効果ガス排出量 (t-CO₂)

令和2年度の目標	令和2年度の結果
1,610,783	1,581,435

目標指標② 家庭部門における温室効果ガス排出量 (t-CO₂)

令和2年度の目標	令和2年度の結果
208,908	208,504

この目標値は「環境基本計画 2020」で定めるとおり、2030年度において基準年度(2013年度)比 26.6%の削減につながるように設定しており、今回は平成30年度の値を算出している。市域全体としては産業部門と民政業務部門の減少幅が大きかった。また、ここ近年の家庭部門は順調に減少傾向にある。



【57. 豊川市役所地球温暖化対策実行計画推進事業】 (産業環境部環境課)

目標指標 市役所内における温室効果ガス排出量(t-CO₂)

令和2年度の目標	令和2年度の結果
32,669	31,618

本事業は、豊川市役所地球温暖化対策実行計画(豊川市公共施設環境率先行動計画)に基づき、市の事務・事業における温室効果ガス排出量を削減するため、個々の職員が率先して取り組むべき行動を「豊川市役所エコ・アクション」と位置づけ、節水、節電、燃料節約、ごみ減量等を実施するものである。また各課から1名ずつ選任された推進員向けの研修を実施している。

今回の実施計画から、目標値や実績値に桜ヶ丘ミュージアムの温室効果ガス排出量を盛り込むなど、若干算出方法に変更を加えている。目標値の推移は、第2次～3次豊川市役所地球温暖化対策実行計画に基づき、基準年度である平成25年度から毎年度1%ずつ削減しているが、エコアクションや市職員研修による啓発効果もあり、目標達成している。



6. 重点施策事業

【重点施策1 とよかわ環境パートナーシッププロジェクト】（産業環境部環境課）

目標指標① 制度の創設

令和2年度の目標	令和2年度の結果
制度の創設	制度の創設済

目標指標② パートナーシップ登録件数

令和2年度の目標	令和2年度の結果
-	-

本施策は、市と市内の企業・団体等（以下「パートナー」という。）がパートナーシップを結び、それぞれの有する資源や知見を生かし、持続可能な社会の実現に向けて、様々な環境保全の取組を展開するものである。令和2年度に制度を創設させ、令和3年度よりパートナーを募集し、順次、協働事業を進めていく。市の実施する環境施策に対し、人員や知識、技術等をご提供いただいたり、市と協働し、環境保全活動等に関する講演、研修会等の事業を実施していただくことを計画している。

令和2年度は、本制度を創設するための期間であり、先進地視察を実施したうえで、計画どおり要綱を策定することができたので、目標達成とした。また、環境パートナー候補と事前の打合せを行い、翌年度以降どのように事業を実施していくかを話し合うことができた。初めての試みなので、実績を積み重ねていきながら、完成度の高い事業を展開していきたい。



【重点施策2 とよかわ省エネ・創エネ推進プロジェクト】(産業環境部環境課)

目標指標① 太陽光発電システムの設置基数累計※市補助分以外も含む

令和2年度の目標	令和2年度の結果
8,216	8,415

目標指標② 定格出力(kW)

令和2年度の目標	令和2年度の結果
101,800	117,000

本施策は、家庭における温室効果ガス排出量の削減を進めるため、一般家庭向けに、まちの電器店等と連携し、電化製品の高効率製品等への買い替えのための省エネ勉強会を開催するほか、住宅用地球温暖化対策設備の設置費補助を実施するものである。

住宅用地球温暖化対策設備の設置費補助については、太陽光発電の単独補助が令和元年度をもって終了したが、一体的導入として、他の導入設備と組み合わせることにより太陽光発電の補助を受けることができるようにした。予算枠は前年度の2倍の20件に増やしたが、4月14日に受付が終了してしまった。ゼロカーボンシティを含めた地域の脱炭素化のためには、再生可能エネルギーの活用が重要となるため、事業の拡充を視野に入れ継続していきたい。なお、令和2年度の市域全体における太陽光発電の設置件数は699件(累計8,415件)で、その出力は23,200kW(累計117,000kW)となる。市の補助を受けずとも、これだけ多くの方々が再生可能エネルギーを導入し、家庭部門の温室効果ガス排出量の削減に寄与されている。その他の補助においても燃料電池を除き、年度途中で予算上限に達し受付を修了している。計画として順調である。

省エネ勉強会については、豊川商工会議所に挨拶に伺い、翌年度以降の協力を依頼してきた。



【重点施策3 とよかわ食品ロス削減プロジェクト】（産業環境部清掃事業課）

目標指標① 市民1人あたりのごみの排出量(g)

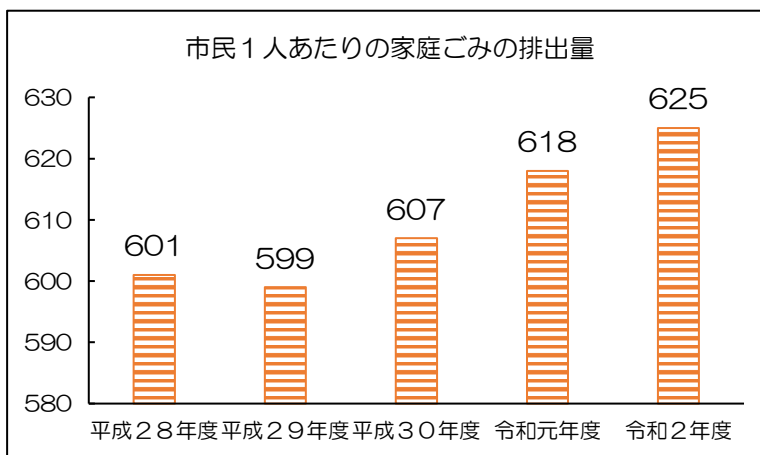
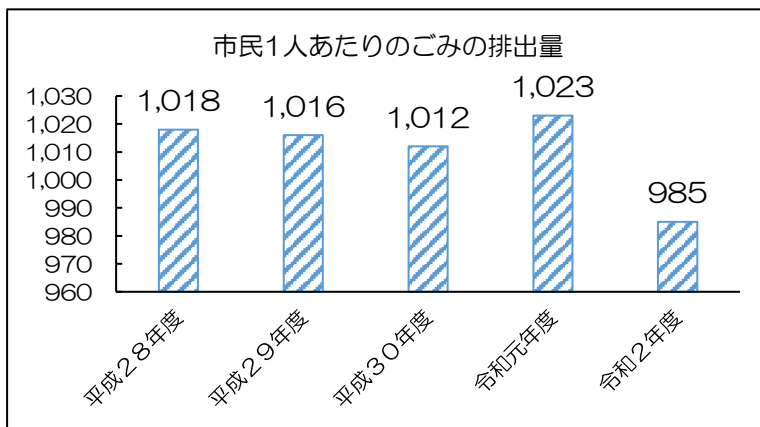
令和2年度の目標	令和2年度の結果
991	985

目標指標② 市民1人あたりの家庭ごみの排出量(g)

令和2年度の目標	令和2年度の結果
588	625

本事業は、一般廃棄物処理基本計画にも掲げた食品ロス削減のための「とよかわ食品ロストリプルゼロ」等の取り組みにより普及・啓発を推進するものである。

市民1人あたりのごみの排出量は、増減を繰り返しながらも減少傾向だが、市民1人あたりの家庭ごみの排出量は、ここ数年微増を続けており、原因究明が難しい。



【重点施策4 とよかわ自然環境共生プロジェクト】（産業環境部環境課）

目標指標 自然環境講座等

令和2年度の目標	令和2年度の結果
10	3

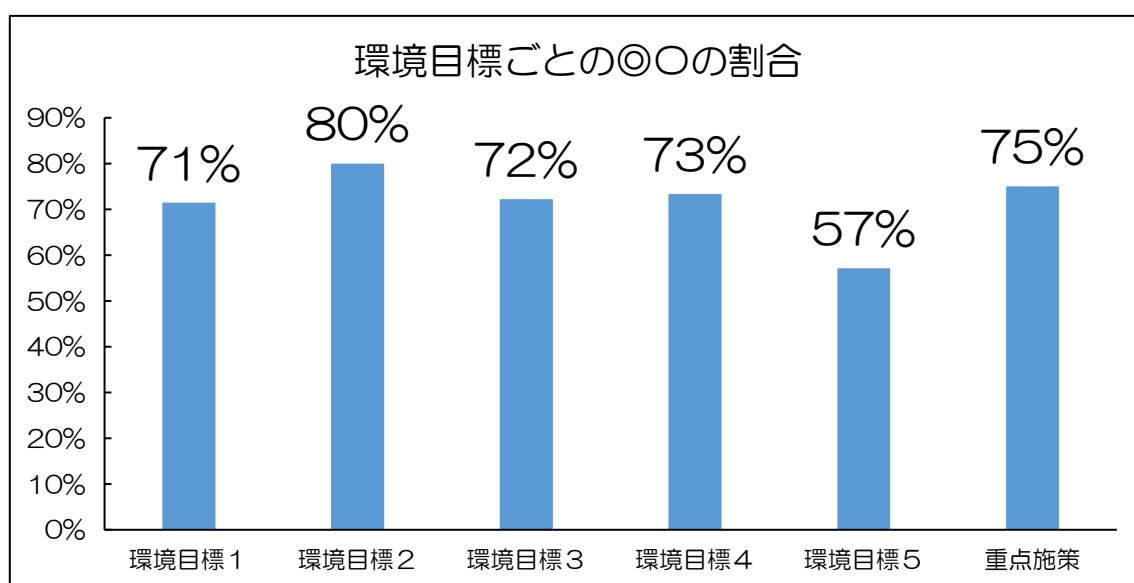
本事業は、豊かな自然環境を将来の世代に継承していくために、豊川市大学連携事業を活用し、愛知大学地域貢献グループ「森の子」と連携することで、市内に生息・生育する動植物等の実態調査を実施するものである。

自然環境に係る講座等は、コロナ禍において児童クラブからの要望はなく、下半期に入りようやく赤塚山公園や手取山公園において、公園緑地課と協働した自然観察会を開催することができた。今後は、現在作成している自然環境調査マップをこれらの環境教育への活用につなげていきたい。



7. 令和2年度全体の評価

環境目標 評価	1	2	3	4	5	重点	計	◎◎の 小計	◎◎の 割合
◎	1	4	7	7	3	2	24	44	72%
○	4	4	6	4	1	1	20		
△	0	1	3	2	3	1	10		
×	2	1	2	2	0	0	7		
計	7	10	18	15	7	4	61		



【全体の評価について】

令和2年度は全体をとおして、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を中止したもの、縮小したものが多く発生したため、結果として目標達成率（◎◎の割合）が低い結果となりました。市民参加型の事業については、新型コロナウイルス感染症の影響が続いているため、令和3年度以降も目標値を達成しづらい状況下ではあるものの、リモート開催等の代替手段をとることで、ある程度の実績を出すことは可能であると考えます。

8. 豊川市環境審議会の評価・意見および市の考え方

豊川市では、本計画を策定及び進捗管理を行う際に意見を求めるため、「豊川市環境審議会」を設置しています。この審議会は、学識経験者や各種団体の代表者、関係行政機関の職員等を含む14名から構成されており、行政以外の視点で市の施策をチェックをし、取り組みを改善していくことが可能です。本章では、審議会委員からの評価と意見をまとめるとともに、それに対する市の考え方について報告するものです。

■〇ページ、〇〇について

委員意見
市の考え